



きずな通信



〈平成25年第1回定例会号〉 第28号

渋谷区議会 無所属クラブ

《渋谷区役所》 渋谷区宇田川町 1-1-5F
TEL 03-3463-1046

幹事長 **やくまる よしと**
薬丸 義人

《自宅》 渋谷区恵比寿 2-17-20
TEL 03-3444-7575

◆ 3月6日から29日まで、平成25年第1回渋谷区議会定例会が開かれました。

今定例会では、区長提出による条例案21件、議員提出による条例案14件、平成24年度補正予算案1件、平成25年度各会計予算案4件、専決処分の承認・報告、請願6件等について審議しました。

◆ 平成25年度渋谷区各会計予算案が審査され本会議において認定されました。

平成25年度渋谷区一般会計及び特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の3事業会計）の各予算案について審査を行いました。

予算審査にあたっては、3月7日の本会議で34名の全議員を委員とする予算特別委員会を設置し総務区民・都市環境・文教・福祉保健の4つの分科会に分かれて事前審査を行いました。

一般会計予算に対し日本共産党渋谷区議団から修正案が提出されましたが、3月28日の予算特別委員会において賛成少数で否決され、翌29日の本会議において区長提出の各会計予算案4件がいずれも賛成多数で可決、認定されました。

◆ 予算に対する無所属クラブの考え。



本会議での予算案採決
(賛成者起立)

平成25年度は日本経済の回復が期待されつつも、渋谷区として社会経済状況の変化等にも対応できるように、起債や基金の活用を最小限に抑えた持続可能な財政運営に向けた予算編成となりました。

特別区税については、前年度に比べ20億円余の増収が見込まれるなど、明るい兆しも見えてきました。しかし一方で、3つの特別会計に対する一般会計からの繰出金は合計で約70億円と、一般会計予算の1割近くを占めています。

こうした状況の中、各施策の見直しを余儀なくされつつも、防災対策・区民福祉・子育て支援等の重要課題に積極的に取り組み、さらに無所属クラブの会派要望も反映された予算編成を評価します。

◆ 平成25年度各会計予算額 (単位：円)

	平成25年度	平成24年度	対前年度増減額	増減率
一般会計	764億1000万0000	803億3300万0000	△39億2300万0000	△4.9%
特別会計	410億2843万2000	395億8666万7000	14億4176万5000	3.6%
国民健康保険事業会計	235億2912万4000	225億9579万7000	9億3332万7000	4.1%
介護保険事業会計	127億9846万9000	122億8646万2000	5億1200万7000	4.2%
後期高齢者医療事業会計	47億0083万9000	47億0440万8000	△356万9000	△0.1%
総額	1174億3843万2000	1199億1966万7000	△24億8123万5000	△2.1%

◆平成25年度予算案の概要。

●防災対策=====

①帰宅困難者支援(受入)施設の表示板・案内板設置 (700万円)

- ・現在確保している28施設を更に増やす。
- ・新たに支援(受入)施設に表示板を掲示する。
- ・幹線道路への支援(受入)施設の案内板を増やす。

②消火栓用スタンドパイプの配置 (340万円)

- ・簡易な操作で放水可能なスタンドパイプ(78本)を自主防災組織に増備し、地域の初期消火力を大幅に向上させる。



③地域防災マニュアルの全戸配布 (3,500万円)

- ・渋谷区の防災・減災対策、災害時の医療体制、避難所一覧、要援護者への対応等を掲載した地域防災マニュアルを本年夏頃に区内全13万世帯に各戸配布する。

④区民施設の耐震補強 (1億6,100万円)

- ・上原区民施設は25年度中に耐震補強工事を行うと共に、地域コミュニティ施設として改修する。
- ・神宮前区民施設は25年度中に耐震診断を行うと共に、耐震補強・改修計画を進める。

⑤避難所備蓄品の拡充 (4,300万円)

- ・これまでの避難所生活者の想定数は25,918人としていたが、震度6強における被害想定に基づき、42,402人に修正。食料・飲料水等の備蓄品についても42,500人分×3食×3日分を確保する。

⑥私立幼稚園防災対策事業の補助 (220万円)

- ・区内15の私立幼稚園において、新たに安否確認メールシステムを導入する際の補助。

●子育て支援=====

①保育施設・幼保一元化施設の整備、定員拡大 (7億6,100万円)

- ・平成21～24年度の4年間で521人の定員拡大を図ってきたが、25年度は保育園・保育室の新設、建替え、認定こども園の開設等により、さらに564人定員を増やす。

②予防接種助成の充実→区民の健康増進②を参照

③保育料の負担軽減の継続 (2億5,000万円)

- ・年収400万円以下世帯の保育料無料化。さらに

400～1000万円までの世帯に対しても、区分に応じて30～20%を軽減。

- ・3人目以降の児童の保育料は無料。(要件有り)
- ・この軽減措置は、認可保育園、幼保一元化施設、認証保育所、区認定保育室、区立保育室の全保育施設で実施。

●福祉=====

①地域包括支援センターの開設 (7,100万円)

- ・現在8地区に配置されているセンターを3箇所増やし、区内11地区それぞれの拠点とする。25年12月に新橋・上原・千駄ヶ谷の各地区に開設を予定。

②高齢者福祉施設の整備 (9,200万円)

- ・特別養護老人ホーム「杜の風・上原」(特養80床、ショートステイ20床)を4月に開設。



- ・せせらぎ内に地域密着型(定員29人以下)特別養護老人ホーム(特養25床、ショートステイ6床)を26年1月に開設(※床数は東京都と協議中)

③健康はつらつ事業の拡充 (3,800万円)

- ・これまでの元気アップサロンしぶや(太極拳・ヨガ等)と、はつらつクラブ(絵手紙・唱歌・料理等)の両事業を健康はつらつ事業として一体化し、11地区全てにおいて、各地区2会場(笹塚のみ4会場)でそれぞれ2教室(運動系と趣味・教養系)を実施する。

④高齢者健康トレーニング教室の拡充(1,700万円)

- ・これまで6箇所で開催していたが、会場の見直しを含めて7箇所とする。(廃止:せせらぎ、新規:杜の風上原及び地域交流センター二軒家)

●区民の健康増進=====

①健康づくり事業 元気ですこやかな生活 ～健康日本一を目指して～ (650万円)

- ・区民・有識者・医師・歯科医師・薬剤師等から成る「健康づくり検討委員会」を立ち上げ、区民実態調査をもとに、子ども・青壮年・高齢者といったライフステージに応じた取り組みを検討。
- ・小中学生向け「おいしいレシピコンテスト」の開催

②予防接種助成制度の充実（4億円）

ワクチン	対象者	助成額/回	接種回数
B型肝炎	0歳	5,000円※	3回
ロタウイルス	6～32週	7,500円※	2回
インフルエンザ	1歳～中学生	全額	年1～2回
ヒブ/小児用肺炎球菌	0～4歳	全額	1～4回
子宮頸がん	中1～高1	全額	3回
おたふく/みずぼうそう	1～3歳	5,000円※	1回
高齢者肺炎球菌	75歳～	全額	1回
高齢者インフルエンザ	65～75歳	半額	年1回
〃	75歳～	全額	年1回

※助成額の上限

●青少年育成

①こども・親子いきいき支援事業（2,800万円）

- ・旧代々木学童館を活用し、子どもや親子を対象に文化・芸術等の専門家によるアートスクールを開催。また、親子の成長を支援する親子教室も開催。

②渋谷・新島スポーツ交流会（60万円）

- ・野球・サッカー等を行う区内の少年スポーツ団体に対し、新島交流の旅費を補助する。1回30名定員で夏休み期間に2回実施。

③元Jリーガーが指導するサッカー教室（270万円）

- ・小学生30～40人を対象に毎月1回、元Jリーガーの直接指導を受ける。

④児童福祉センターの整備（4億3,500万円）

- ・老朽化に伴い、隣接の敬老館と一体的に建替え、児童福祉センター・幼保一元化施設・地域交流センター等の複合施設として整備する。
- ・25年度：解体工事、26・27年度：本体工事

●教育の充実

①クラブ活動等推進（2,800万円）

- ・外部指導員や地域人材の積極活用により、小・中学校及び幼稚園のクラブ活動を支援・推進する。

②学校図書館司書の追加配置（1,250万円）

- ・現在の渋谷本町学園に加え、長谷戸・猿楽・代々木の3小学校に新たに図書館司書を配置。

③松濤美術館総合改修（5億3,600万円）

- ・各所劣化や老朽化のため、一時休館し総合改修及び展示空間の環境改善を行う。
- ・休館中、文化総合センター大和田の2階ギャラリーで収蔵品展を予定。

●文化・都市交流

①フィンランド共和国児童派遣研修（1,360万円）

- ・区立小学校高学年から各校1名ずつを面接等により選考し、8月にヘルシンキ市等へ派遣する。

②被災地等伝統芸能公演支援（1,500万円）

- ・24年度の6団体を8団体へ拡充し2回実施。



③旧大山街道歩行空間拡幅事業（960万円）

- ・宮益坂～道玄坂（約1.1km）の歩道拡幅、自転車レーン確保、街路樹の更新等の整備のため、交通量調査、各種検討、基本計画の策定を行う。

◆予算特別委員会の各分科会で区理事者に指摘した主な事項は下記の通りです。

渋谷区は、上記事業を含む平成25年度予算に基づき区政を執行していきませんが、区民生活がより良いものとなるよう、区議会として予算審査の中で所管の理事者に対し数々の指摘・要望をしています。主な指摘事項は次の通りです。

●総務区民分科会

【総務部】

- ・区職員への障がい者雇用の一層の促進に努められたい。

【危機管理対策部】

- ・帰宅困難者支援事業においては、近隣区との連携を十分にとって対応されたい。

【区民部】

- ・老朽化した区民施設の早急な耐震補強の実施に努められたい。

●都市環境分科会

【都市整備部】

- ・PM2.5等の公害対策については、東京都等と連携し、健康不安を解消できる広報と各施設への連絡体制の更なる充実に努められたい。

【土木清掃部】

- ・放置自転車対策は、ビル事業者やマンション管理者と協議し、利用者が必要とする駐車場を確保するよう、引き続き指導に努められたい。

●文教分科会

【子ども家庭部】

- ・保育環境の整備については、子ども・子育て会議の審議も踏まえ、待機児解消に向けた一層の努力を重ねられたい。

【教育委員会】

- ・小学校給食運営については、食育の推進、アレルギー対応等の観点から、栄養士の配置に十分配慮されたい。

●福祉保健分科会

【福祉部】

- ・シニアいきいき事業については、講座を増やすと共に、新たな受講者が参加しやすいよう改善されたい。

【健康推進部】

- ・予防接種事業の実施にあたっては、今後、ワクチン接種料の統一に向けて医師会等関係機関との協議に一層努められたい。また、副反応への対応については、国・都と十分に連携し区民への周知徹底と迅速な対応に努められたい。

◆議案の概要と結果について。

今定例会では議員報酬の削減、区長・副区長・教育長の給料及び退職手当の削減、職員の退職手当の見直し、震災対策総合条例の大幅改正、子ども子育て条例の制定、国民健康保険料の改正、生活保護費の増加に伴う24年度補正予算など、約50の議案についても審議しました。

3月14日の中間本会議及び29日の本会議において、区長提出議案はすべて可決となりました。また、6件の請願のうち1件を採択し、意見書2件を政府・国会等にあげることが決定しました。

詳しくは4月下旬発行の「渋谷区議会だより」をご覧ください。

◆傍聴にいらっしやいませんか！

本会議及び各委員会は傍聴することができます。区役所5階区議会事務局で傍聴券をお渡しします。是非お越しくください。(大型の電動車椅子ご使用の方、手話通訳の必要な方は、あらかじめ薬丸義人にご連絡ください)

◆渋谷区PRキャラクター（ゆるキャラ）が誕生しました！

渋谷区の妖精

あいりっすん



1年前に薬丸義人が提案した、渋谷区のゆるキャラがついに誕生しました。

渋谷区では区制施行80周年記念事業として、昨年7月から約2カ月に渡って渋谷区PRキャラクターの募集をしたところ、海外を含め全国から1,547点もの応募がありました！

キャラクター制定検討会による選考の結果、大人やプロの作品も多数ある中で、渋谷区の小学3年生の女の子の作品が採用されました。

名前はあいりっすん。区の花であるハナショウブ(英語でアイリス)をモチーフにした、代々木の森・代々木公園に住んでいる、おしゃれやお化粧が大好きな妖精だそうです。

今後、区の公式キャラクターとして、区政のいろいろな場面に登場していく予定です。皆さま、是非かわいがって下さい！

制定検討会アドバイザー（順不同、敬称略）

- 箭内道彦（クリエイティブディレクター）
- 永谷亜矢子（よしもとクリエイティブエージェンシープロデューサー）
- 大沼久美子（文化ファッションインキュベーションゼネラルマネージャー）
- きゃりーぱみゅぱみゅ（モデル、歌手、原宿カワイイ大使）

★次回の渋谷区議会
平成25年第2回定例会は
6月4日からの予定です!!

